

五十肩

Q 肩が痛いのですが、五十肩のようなものは放っておいても治りますか？

A

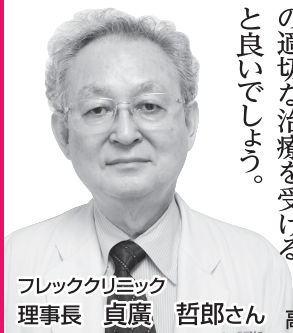
五十肩という言葉は江戸時代からあり、人々は古くから肩の痛みに悩まされ続けています。肩の痛みと一言でいっても、その中には種々の病気が含まれています。

多くは「肩関節周囲炎」といわれるもので、肩の腱(けん)が切れたり炎症を起こして痛みを生じます。これは磁気共鳴画像装置(MRI)検査で正確に診断でき、早くから治療を開始すれば良くなります。いまだに原因の分からない「凍結肩」と呼ばれるものは、放っ



ておいても痛みは取れませんが、1年余りかかります。その他、昼間は軽く、夜になると痛みが強くなる「夜間痛」は、バスタオルなどを折り畳んで、肩から腕の下に敷くと痛みが楽になることもあります。

このように肩の痛みでもさまざまな状態や症状がありますので、「そのうち治る」と思い込まず、専門の医師の適切な治療を受けると良いでしょう。



フレッククリミック

理事長 貞廣 哲郎さん

高知市高須新町4-3-20 TEL088-882-8313 (整形外科・リウマチ科・リハビリテーション科)